

第2回 大蔵・舞子海岸の空洞対策検討委員会 議事概要

開催日時: 令和7年7月3日(水) 10:00～

場 所: 神戸港湾空港技術調査事務所 会議室

～ 議事概要 ～

(1) 議事内容

- 委員会規約の改正
 - ・オブザーバーとして、「兵庫県 土木部 港湾課」、「兵庫県 東播磨県民局 加古川土木事務所」、「神戸市 建設局 公園部 魅力創造課」、「明石市 都市局 都市整備室 公園・海岸課」を追加
- 追加調査について
 - ・令和7年度 追加調査について
 - ・今後の調査予定(案)について
- 対策工法の考え方
 - ・空洞の発生要因について
 - ・対策工法(案)について
 - ・対策実施条件(閾値)について
- 今後のスケジュール
 - ・今後の委員会開催時期、追加調査及び対策工実施スケジュールの確認

(2) 主な議事

■委員からの助言等

【委員会規約の改正】 資料－1

※意見等は特になし

【追加調査について】 資料－2

- カメラを用いたモニタリングは、波の状況を分かりやすく捉えられており有益と思われる。
- 量水標の設置にあたっては、近年観測された最高潮位(平成30年台風第20号・第21号など)を参考に、観測可能な測定範囲を設定するとよい。
- 開削調査にあたっては、調査目的や今後の検討スケジュールを踏まえ、本調査で確認すべき事項や開削箇所の追加等について検討のうえ実施されたい。
- 開削調査の際、防砂板や防砂シートの状況(劣化や損傷の程度等)についても可能な限り確認するとよい。
また、裏込材の粒度分布についても調査できるとよい。
波返し付近で確認されている空洞については、基礎碎石に土砂が入り込んで空洞が発生した可能性も視野に入れて調査されたい。
- 波浪変形計算を用いた共振、重複波、沿い波等の作用に関する検討にあたっては、現在予定している感度分析ケースの周期に加え、より長い周期のケースについても確認するとよい。
- 水圧式波高計の記録間隔は、記録間隔1秒程度よりも短くするとよい。

【対策工法の考え方】 資料－3

- 防砂板を補修するための開削や掘削等は、大規模工事が必要となる場合も考えられるため、開削や掘削が不要な対策工法についても検討するとよい。
- 波圧低減対策を実施する箇所については、目地間隔だけではなく、空洞と目地の状況や、使用する材料の耐久性なども踏まえ検討するとよい。
- 防砂板や防砂シートの劣化や損傷は防ぎようがないため、それらに頼らない対策工法についても検討するとよい。
- 大蔵・舞子海岸は将来的に地方自治体が管理することも踏まえ、対策工法の選定にあたっては、その後のモニタリングや修繕の容易さといった観点も必要であると思われる。

【今後のスケジュール】 資料－4

※意見等は特になし

以 上